

## 事業の背景・目的

- 国の天然記念物イタセンパラは濃尾平野、富山平野及び大阪平野の一部の地域にしか生息しておらず、今では国内希少野生動植物種に指定されている。絶滅が危惧され、地域における生物多様性保全の観点から保全活動が必要である。
  - 市では、当交付金を活用し、親子参加型事業、興味促進型事業、地域連携型事業、先進事例研究の事業を実施している。本事業により地域連携保全につながる活動を行い、持続的にイタセンパラを保全する活動の推進及び体制構築を目指す。
- ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部事業が実施できず

## 事業の内容

羽島市内を流れる木曾川に生息する国内希少野生動植物種で国の天然記念物のイタセンパラを地域の宝としての認識を広め、住民や小中学校など地域との連携を促進し、持続可能な保全活動体勢の構築、監視モニタリングの構築を目標としている。そのために、(ア)親子参加型事業、(イ)興味促進型事業、(ウ)地域連携型事業、(エ)先進事例研究の4つの事業を掲げ、イタセンパラを保護・啓発し、生物多様性の重要性や保全意識の醸成を図った。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、(ア)親子参加型事業 実施できず

### 令和元年度事業内容

- (ア) イタセンパラ塾の開催。
- (イ) 市立図書館、市内学校にて飼育展示を継続。  
普及啓発ツール作製
- (ウ) サポーターや地域住民を対象にしたプログラムを実施。
- (エ) 氷見市へイタセンパラに関する視察を実施。  
全国会議にて取組を発表、他市町の活動を研究。



### 令和2年度事業内容

- (イ) 市立図書館、市内学校にて飼育展示を継続。  
新たに小学校1校での飼育展示開始。  
「夏の生活」にイタセンパラ記事掲載。
- (ウ) サポーターを対象にしたプログラムを実施。  
イタセンパラのブランド化の推進。
- (エ) 大阪市淀川区の担当者と連絡を取り、活動を研究。



〈イタセンパラ塾〉

## 得られた成果



〈搬入の様子〉

## 事業の成果

- イタセンパラのブランド化として、市内お菓子店の理解・協力を得ることができた。
- 県内の中学生に配布する「夏の生活」にイタセンパラの生態や、羽島市での取組みなどを掲載し周知につなげた。



## 活動継続の見通し

- イタセンパラの飼育展示の継続。
- 各関係機関と連携し、さらなる普及啓発に努める。
- サポーター制度をより一層広げ、持続可能な保全活動体制の構築を行っていく。
- ブランド化の拡大。



## 事業終了後の展開

- 他市町、園館、木曾川水系イタセンパラ保護協議会、小中学校と連携した普及啓発の推進。
- 特産物のブランド化などの方法で一部財政支援を得る。  
継続した事業実施の展開を目標としている。